

## § 1 公益活動の推進

### 1) 外部学会発表および学術雑誌への論文発表

7月3日～31日（オンライン）

会合名：国際モダンホスピタルショー 2023

演題名：AI がもたらす【テーラーメイド健診】とは？ 疾病発症予防の新たなる展開

発表者：丸中良典

8月1日～7日

会合名：The 7<sup>th</sup> International Symposium on Phytochemicals in Medicine and Food

演題名：Involvement of voltage-gated Ca<sup>2+</sup> channels in ambroxol-induced enhancement of ciliary beating in mouse airway ciliated cells （招待講演：全体基調講演）

発表者：Yoshinori MARUNAKA （丸中良典）

9月15日～17日

会合名：第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会

演題：亜鉛摂取量と脳の各解剖構造の体積およびその変化率の相関についての検討

発表者：丸中良典 他

11月11日

会合名：第115回近畿生理学談話会

2023年 吹田 大阪大学吹田キャンパス 医学部講義等

演題：ヒト鼻粘膜線毛細胞における空気中(0.04% CO<sub>2</sub>)での細胞内pHによる線毛運動維持機構  
丸中良典 他

2月9日～10日

会合名：第53回日本神経放射線学会

演題：地域社会の成人における前頭回皮質の相対的体積と言語流暢性課題の相関

発表者：丸中良典 他

3月28日～30日

会合名：日本生理学会第101回大会

演題：シンポジウム 日本の労働科学の曙と歩み - 労働生理・労働衛生の原点 -  
労働生理学における健康診断データの意義 （招待講演）

発表者：丸中良典

学術雑誌における論文発表

269.

Yamanoi Y, Lei J, Takayama Y, Hosogi S, **MARUNAKA Y**, Tominaga, M  
TRPV3-ANO1 interaction positively regulates wound healing in keratinocytes  
Communications Biology 6(1):88, 2023

270.

Saito D, Suzuki C, Tanaka S, Hosogi S, Kawaguchi K, Asano S, Okamoto S, Yasuda M, Hirano S, Inui T, **MARUNAKA Y**, Nakahari T  
Ambroxol-enhanced ciliary beating via voltage-gated Ca<sup>2+</sup> channels in mouse airway ciliary cells  
European Journal of Pharmacology 941:175496, 2023

271.

Kato M, Horiguchi G, Ueda T, Hongo F, Okihara K, **MARUNAKA Y**, Teramukai S, Ukimura O  
A big data-based on prediction model for prostate cancer incidence in Japanese men  
Scientific Reports 13(1): 6579, 2023

272.

**MARUNAKA Y**

Molecular mechanisms of obesity-induced development of insulin resistance and promotion of amyloid- $\beta$  accumulation: dietary therapy using weak organic acids via improvement of lowered interstitial fluid pH  
Biomolecules 13(5):779, 2023

273.

Niisato N, **MARUNAKA Y**

Therapeutic potential of multifunctional myricetin for treatment of type 2 diabetes mellitus  
Frontiers in Nutrition 10:1175660, 2023.

274.

Minamibata A, Kono Y, Arimoto T, **MARUNAKA Y**, Takayama K.

Variability of serum CYFRA 21-1 and its susceptibility to clinical characteristics in individuals without cancer: a 4-year retrospective analysis  
BMC Pulmonary Medicine 23:344, 2023

275.

**MARUNAKA Y**

Physiological roles of chloride ions in bodily and cellular functions  
Journal of Physiological Sciences 73:31, 2023

276.

Nakahari T, Suzuki C, Kawaguchi K, Hosogi H, Tanaka S, Asano S, Inui T, **MARUNAKA Y**

Ambroxol-enhanced Frequency and amplitude of beating cilia controlled by a voltage-gated  $\text{Ca}^{2+}$  channel, Cav1.2, via  $\text{pH}_i$  increase and  $[\text{Cl}^-]_i$  decrease in the lung airway epithelial cells of mice  
International Journal of Molecular Sciences 24:16976, 2023

277.

**MARUNAKA Y**

The role of ion-transporting proteins in human disease  
International Journal of Molecular Sciences 25:1726, 2024

外部団体への参加

5月22日

フレイル漢方薬理研究会 第26回世話人会 丸中良典

6月1日

日本膜学会 第227回膜編集委員会 丸中良典

8月6日

第6回フレイル漢方薬理研究会学術集会 丸中良典

9月2日

第6回フレイル漢方薬理研究会学術集会 丸中良典

11月9日

フレイル漢方薬理研究会 第27回世話人会 丸中良典

11月11日

近畿生理学談話会 評議員会 丸中良典

11月19日

Journal of Physiological Sciences 編集委員会 丸中良典

11月19日

日本生理学会 理事会 丸中良典

11月19日

日本膜学会 第228回膜編集委員会 丸中良典

3月27日

Journal of Physiological Sciences 編集委員会 丸中良典

3月27日

日本生理学会 理事会 丸中良典

## 研究費

日本学術振興会（文部科学省）：科学研究費補助金

基盤研究（B）

研究代表者：丸中良典

食品成分による細胞外ナノスケール微小空間 pH 依存的癌細胞増殖抑制の試み

研究費総額 17,160,000 円

研究期間 2021年4月1日 ～ 2025年3月31日

## 2) 研究発表

月日	会合名	演題	発表者
5月10日 ～5月12日	第96回日本産業衛生学会	小規模事業場の職場環境改善のためのリーフレットの作成と評価	中嶋 知恵
5月10日 ～5月12日	第96回日本産業衛生学会	強くしなやかな産業保健をめざして	内田 陽之
5月10日 ～5月12日	第96回日本産業衛生学会	中小企業A社の産業保健活動に保健師が参画した効果	白山 桃代
7月12日 ～7月14日	国際モダンホスピタルショウ 2023	AIがもたらす【テーラーメイド健診】とは？ ：疾病発症予防の新たなる展開	丸中 良典

7月13日 ～7月14日	生理学研究所 研究会「上皮細胞輸送と細胞極性形成機構の統合的理解を目指して」	低CO <sub>2</sub> (room air) に晒されている鼻粘膜の carbonic anhydrase IV と Na <sup>+</sup> /HCO <sub>3</sub> <sup>-</sup> 共輸送による線毛運動維持機構	丸中 良典
8月2日 ～8月7日	7th International Symposium on Phytochemicals in Medicine and Food (7-ISPMF)	Involvement of voltage-gated Ca <sup>2+</sup> channels in ambroxol-induced enhancement of ciliary beating in mouse airway ciliated cells	丸中 良典
9月1日 ～9月2日	第64回日本人間ドック学会学術大会	腹部超音波検診における検査従事年数による脂肪肝判定基準のばらつきについて	池上 真士
9月15日 ～9月17日	第59回日本医学放射線学会秋季臨床大会	亜鉛摂取量と脳の各解剖構造の体積およびその変化率の相関についての検討	丸中 良典
10月7日	日本心理臨床学会 第42回大会	心理臨床学の新たな多様性を拓く	水本 正志
10月27日 ～10月29日	第33回日本産業衛生学会全国協議会	学術委員会「産業保健現場と研究のギャップ解消」グループのこれまでの取組みの報告	森口 次郎
10月27日 ～10月29日	第33回日本産業衛生学会全国協議会	アーク溶接業務従事者の適切な呼吸用保護具使用に影響を与える要因の分析	岡本 昭夫
10月27日 ～10月29日	第33回日本産業衛生学会全国協議会	労働衛生機関による新型コロナワクチン集団接種会場の運営における非常勤スタッフリーダー制導入の効果	江原 大樹
11月11日	第115回近畿生理学談話会	ヒト鼻粘膜線毛細胞における空気中(0.04% CO <sub>2</sub> )での細胞内pHによる線毛運動維持機構	丸中 良典
11月11日	第63回近畿産業衛生学会	当会における「産業保健外来」の実績と課題	岡本 昭夫
11月11日	第63回近畿産業衛生学会	自事業場内のストレスチェック集団分析結果の活用に関わる実践報告—心理職の立場から—	藤井 彩
12月8日 ～12月9日	第31回日本産業ストレス学会	ストレス対処行動とストレスチェックの高ストレス判定との関連	山根 英之
2月9日 ～2月10日	第53回日本神経放射線学会	地域社会の成人における前頭回皮質の相対的体積と言語流暢性課題の相関	丸中 良典
2月23日	第4回 京都医学検査学会	成長への架け橋 ～'一人前' から '一流' へ～	三宅 里佳

### 3) 衛生教育（関係団体等の主催する会合への講師の派遣）

月日	主催	テーマ他	参加者
6月 16日	第25回土屋健三郎記念 産業医学推進賞 授与式	受賞記念講演	森口 次郎
6月 22日 ～6月 24日	第119回日本精神神経学会 学術総会	シンポジウム	森口 次郎
8月 25日 ～8月 27日	第30回日本産業精神保健学会	島悟賞「中小企業の産業精神保健向上を目指して」ほか	森口 次郎
9月 16日	第6回生涯教育研修会	知っておきたい！女性の健康課題とその対応	長谷川 暢子
10月 21日 ～10月 22日	第62回日臨技近畿支部医学検査 学会	シンポジウム「甲状腺・体表超音波編」	尾花 康子
11月 5日	第38回内分泌糖尿病心理行動 研究会 肥満治療の最前線～ 肥満外科治療が進むなかで、今な お求められる心理支援とは～	肥満治療におけるチーム医療と心理的アプローチ	藤井 彩
1月 24日	安全衛生主務課長・担当者会議	粉じん作業場における作業環境測定の実務に ついて	川口 敦央
1月 27日	第27回日本病態栄養学会 年次学術集会	シンポジウム5 企業で働く栄養士に必要な スキル	大田 千紘
3月 5日	京都女子大学	臨地実習（臨床栄養学Ⅰ）の代替としての学内 実習	畑中 知子